

登録日	2026/5/26
腫瘍名	胆道がん

レジメン名	BiI008 (限定)
申請診療科	消化器外科

投与スケジュール

mFOLFOX6				14日毎 × PD		
				1コース	2コース	
				1 2 3	15 ... (day)	
①	生理食塩水 (ポート穿刺用)	20 mL	点滴	5分	↓	↓
②	デキサート パロノセトロン 生理食塩水	9.9 mg 0.75 mg 50 mL	点滴	15分	↓	↓
③	レボホリナート 5%ブドウ糖液	200 mg/m ² 250 mL	点滴	120分	↓	↓
④	オキサリプラチン 5%ブドウ糖液	85 mg/m ² 250 mL	③と同時に 点滴	120分	↓	↓
⑤	フルオロウラシル 生理食塩水	400 mg/m ² 50 mL	③、④終了後に 全開		↓	↓
⑥	フルオロウラシル 生理食塩水	2400 mg/m ²	⑤終了後に 46時間かけて 携帯型持続注入ポンプを用いて		■	■
				*フルオロウラシルの量にあわせて総量が変わります。		
⑦	生食注シリンジ ポート内洗浄 患者持ち帰り用	10 mL	静注		↓	↓

注意事項

<p>【適応】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・進行、再発の胆道癌(原則、2次治療以降) ・当院の保険外審査委員会に個別に承認を得ること。 <p>【使用上の注意】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・臨床試験時の減量基準(参考情報) 1) 70歳を超える高齢者は、フルオロウラシルを80%量から開始していた。 2) クレアチニンクリアランス30~60mL/minの場合、オキサリプラチンを65mg/m²に減量可能 3) 各薬剤に最大2段階の減量が許容された(レベル1:80%量、レベル2:50%量) 4) 次コース投与基準:好中球数$\geq 1.5 \times 10^9/L$、血小板数$\geq 75 \times 10^9/L$
--

参考文献

<p>1)胆道癌診療ガイドライン 改訂第4版</p> <p>2) Lancet Oncol. 22, 690-701 (2021).</p> <p>3) 添付文書(オキサリプラチン2024年11月改訂版、レボホリナート2024年4月改訂版、フルオロウラシル2024年7月改訂版)</p>
